

アドホック研究会 「先進観察技術活用研究会」

1,趣旨

近年の観察技術の進歩は著しく、特に従来困難であったスケールもしくは時分割で、多くの情報を取得することが可能となっている。量子ビーム（放射光・中性子）施設の一般ユーザの利用、ハイスピードカメラによる二次元温度測定、ミクروسケールでの結晶方位解析などが、いい例である。しかしながら、これら先進観察技術へのファーストコンタクトを提供する機会は決して多いとはいえず、コーディネータ的役割をする機会が必要である。本研究会はその機会を供給する、つまり研究会参加者と各施設・装置関係者をつなぐ役割を目指し、溶接学会員の研究力のさらなる向上に資することを目的としています。

そのため、研究会幹事には、量子ビーム施設関係者や、二次元温度測定のエキスパートにご参加いただき、上記意図に沿った企画の実施にご協力いただく段取りとなっております。先進観察技術と溶接学会員をつなぐ中継拠点として機能することを目指します。

2, 内容

放射光施設、中性子施設の利用促進部等と連携し、利用計画・申請・準備等に関する具体的な方法論を身につける、また実施例を勉強するためのセミナーを開くことを予定しています。また、ハイスピードカメラによる二次元温度測定（溶接プロセス観察）デモに関するセミナーも企画しています。

本研究会は、関連セミナーの紹介、セミナー企画、研究相談拠点の設置、を通じて、研究会委員の先進観察技術活用を可能な限り支援、継続的な関係構築をサポート致します。平成 28 年 2 月 1 日には、研究会活動第一単として、SPring-8 利用推進協議会 研究開発委員会主催の第 11 回金属材料評価研究会の協賛を行います。

3, 研究期間

平成 28 年 1 月～平成 28 年 12 月

4, 組織

主査：寺崎 秀紀（熊本大学） 副査：瀬知 啓久（鹿児島県工業技術センター）
幹事：小溝 裕一（高輝度光科学研究センター）、篠原 武尚（日本原子力研究開発機構）、
菅蒲 敬久（日本原子力研究開発機構）、山本 元道（広島大学）、
委員：浅井 知（阪大）、大畑 充（阪大）、梶原 堅太郎（高輝度光科学研究センター）、
上月 渉平（JFE）、佐藤 裕（東北大）、佐野 智一（阪大）、田中 学（阪大
接合研）、中西 省太（IHI）、西川 宏（阪大接合研）、松田昇一（琉大）、望月正人
（阪大）

5, 参加資格

- ・溶接学会員である方が望ましい

6, 申込方法

氏名・所属・部署・署名・連絡先（住所・TEL・E-mail）・専門分野を記載し，電子メールにて下記までご連絡ください。

寺崎秀紀（熊本大学大学院自然科学研究科 教授）

E-mail: terasaki@mech.kumamoto-u.ac.jp